

4. 教員の活動報告

4-1. 行動学系

講座名等	教員氏名
人間行動学	森川 和則
	入戸野 宏
	郷原 皓彦
	篠原 一光
	木村 司
	三浦 麻子
	綿村 英一郎
	仁科 国之
	権藤 恭之
	松本 清明
	三好 恵真子
	青野 正二
	小林 清治
	HU YUYU
	中井 宏
	秋保 亮太
行動生態学	鹿子木 康弘
	萩原 広道
	八十島 安伸
	足立 浩平
	山本 倫生
	中野 良彦
	設楽 哲弥
	勝 野史子
附属比較行動実験施設	山田 一憲

※計 25 名 掲載順

所属学系：	行動学	氏名：	森川 和則
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学	氏名：	入戸野 宏
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
大学院生を指導して、学会発表を行い、複数の国際誌に論文を掲載した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
昨年度に引き続き、科学研究費補助金基盤研究(A)により、「かわいい」感情についての研究を行った。研究成果は国際誌に掲載されるだけでなく、メディアでたびたび取り上げられた。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
行動学系研究倫理委員長として 180 余件の審査を行うとともに、全学入試委員（共通テストと前期日程の試験実施責任者）として管理運営に携わった。

所属学系：	行動学	氏名：	郷原 皓彦
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
共著（第2著者）として査読付き和文誌に1本の論文が掲載された。 また、主発表者として2件の国内学会発表を行った。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
2024年2月まで日本生理心理学会編集委員長補佐として、学会誌の編集作業に携わった。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学	氏名：	篠原 一光
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
査読付論文3件（国際誌2件、国内誌1件）を発表できた。また、独立行政法人と企業から2件の外部研究資金の受け入れを行った。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
国土交通省道路交通環境安全推進連絡会議委員、日本自動車連盟交通安全実行委員会委員等の交通安全に関する諸団体での活動を行った。また製品評価技術基盤機構での事故動向等解析専門員会で、製品安全に関する活動を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学	氏名：	木村 司
-------	-----	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
2023 年度日本生理人類学会フロンティアミーティング（秋期）にて優秀ポスター賞を受賞した（授与機関：日本生理人類学会，受賞年月：2023 年 11 月）。 日本心理学会第 87 回大会にて学術大会優秀発表賞を受賞した（授与機関：日本心理学会，受賞年月：2024 年 2 月）。 語学習熟度を判定する「判定装置及びプログラム」と題する特許を取得した（特許番号：7418873，発行月：2024 年 1 月）。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本生理心理学会若手会にて幹事代表を務めている（学会名：日本生理心理学会，任期開始年月：2023 年 5 月）。 日本生理心理学会若手会が主催し「自律神経系生理指標測定の概要と実測」と題するウェビナーを実施した（学会名：日本生理心理学会，開催月：2024 年 9 月）。 日本生理心理学会の学会誌である生理心理学と精神生理学にて編集委員会事務局編集委員長補佐を務めている（学会名：日本生理心理学会，任期開始年月：2024 年 2 月）。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
行動学系 web ページの管理を行っている（管理開始年月：2023 年 9 月）。

所属学系：	行動学	氏名：	三浦 麻子
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
・2022年度卒業生（橋本捷矢さん）の卒業論文を英語にして Letters on Evolutionary Behavioral Science 誌に投稿し、採択された。 ・2022年度実験実習 II のグループ研究の成果を未来共創センターの『未来共創』に投稿し、採択された。 ・2023年度実験実習 III のグループ研究の成果を北摂心理学連合主催の研究発表集会で発表した。 ・日本人間行動進化学会の年次大会（12月・大阪公立大学）に3年生が参加した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
3つの科研費研究（代表者1，分担者2）を継続して実施した。大阪大学感染症総合教育研究拠点の「部局横断型「感染症」研究促進プログラム」に採択され、研究を遂行中である。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本学術会議連携会員 JST ムーンショット型研究開発事業目標9アドバイザー JST さきがけ「パンデミックに対してレジリエントな社会・技術基盤の構築」領域アドバイザー 原子力安全システム研究所社会システム研究所研究企画会議委員 日本グループ・ダイナミックス学会理事 心理学評論編集委員 日本心理学諸学会連合理事兵庫県赤穂市市政特別アドバイザー

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
総長補佐（研究オフィス担当） 感染症総合教育研究拠点 科学情報・公共政策部門 副部門長 人間科学研究科評価委員長 行動学系幹事教授

所属学系：	行動学	氏名：	綿村 英一郎
-------	-----	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
・ 国立台湾大学との研究交流 ・ 法と心理学会 2023 年度大会にて、シンポジウム企画、プログラム委員などを担当 ・ 西南学院大学，ナレッジサロン等での研究報告 ・ 博士論文の外部副査

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
・ 教務委員会（副教務委員長） ・ 公認心理師運営プログラム（副室長）

所属学系：	行動学	氏名：	仁科 国之
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
なし

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科研費若手の受入

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
次世代の人間科学研究会を立ち上げ、夏の研究会の企画、実施をおこなった。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
なし

所属学系：	行動学	氏名：	権藤 恭之
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
学生と高齢者がディスカッションする機会（老いとも）の実施

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
複数の研究費を獲得、長期縦断研究を実施

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
朝来市の健康にかかわる事業のアドバイザーとして参加

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
特になし

所属学系：	行動学	氏名：	松本 清明
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
伊丹市ラストホールとの共同で高齢者と大学生を交えたアウトリーチ活動の老いともを行った。老いともでは、ワークショップを通じて社会的ネットワークを可視化した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
第 18 回日本応用老年学会 実行委員

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学	氏名：	三好 恵真子
-------	-----	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
博士後期課程の学生が、「社会と知の統合」を実現するイノベーション博士人材フェローシップに2名、また学際融合を推進し社会実装を担う次世代挑戦的研究者育成プロジェクト生に1名採用されており、関連研究を推進して評価を得た。留学生1名が超域イノベーション博士課程プログラムのコースワークを修了した。来年度博士後期課程に進学する留学生1名が、人文社会科学系オーナー大学院プログラムの履修生として採用された。本年度の日本生活学会生活学プロジェクト助成に院生が代表となるプロジェクトが3件採択された。世界思想社のウェブマガジン「せかいしそう」のリレー連載「ガクモンをめ」の若手研究者の一人として所属院生が選ばれ、関連記事が掲載された。読売新聞に院生のフィールドでのコメントが掲載された。所属院生たちが国内外の学会発表を精力的に行い、学術雑誌（査読有含）に複数本掲載された。院生との共編書を出版した。所属学部生が、アメフト部の引退前の最終試合において、勝利し、85年度以来38年ぶりの1部昇格に貢献した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
グローバル日本学教育研究拠点における「拠点形成プロジェクト」に、研究代表として採択されている「21世紀課題群と東アジアの新環境：実践志向型地域研究の拠点構築」の第2回シンポジウムとして、「記憶の継承を祈念するグローバル・ダイアログ」を一般公開にて開催し（オンライン開催 with Zoom）、国内外から100名を超える参加者が結集した。シンポジウムの総括をOUFC (Osaka University Forum on China) Bookletとして刊行し、OUKAにも登載した。IMPACTオープンプロジェクト「記憶の継承を祈念するグローバル・ダイアログ（記憶の継承ラボ）」を立ち上げ、学生主体により様々なフィールドでの活動を行った。ダイキン工業との包括連携契約によるDi-ChiLDの受託研究テーマ「新たな研究課題・価値創造探索活動」における「複雑な現象の解明から人々の暮らしと空気・環境の改善を導く最先端文理融合研究」を推進し、最終年度としての成果のまとめを行った。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
各種学会（資源素材学会、日本レオロジー学会、日本現代中国学会、日本生活学会、日本地球化学会、廃棄物循環資源学会、社会文化学会、日本オーラルヒストリー学会、政策情報学会、美学会等）に所属し、学会運営、学会発表・論文査読等へ貢献した。国際誌や所属学会以外の学術誌の査読者、科学技術振興機構（JST）関連の査読・専門委員等を務めた。日本生活学会の理事・学術委員並びに日本現代中国学会の理事兼事務局を務め、生産技術振興協会の編集委員として尽力した。地域課題の発見及び解決のための人材育成手法の検討に係る研究会に参画した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
国際共創大学院学位プログラム推進機構、先導的学際研究機構、COデザインセンター、グローバル日本学教育研究拠点、D&Iセンター、理学研究科附属フオアフロント研究センターの6つの組織の兼任教員として尽力する。超域イノベーションプログラムで総務WG主査を務めた。部内では、研究倫理審査委員会を務めるとともに、ハラスメント防止委員・ハラスメント相談員として健全な環境整備に助力した。IMPACT運営委員として、OUMP実現加速事業の推進・活性化に助力した。男女協働推進WGでは、学業・子育て両立支援に関する奨学金制度実施を継続し、学内でも高い評価を得た。

所属学系：	行動学	氏名：	青野 正二
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
地方自治体（近畿圏）の条例改正に関する環境審査会に委員として参加した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学	氏名：	小林 清治
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
研究科紀要編集委員会の委員長（2期目）

所属学系：	行動学	氏名：	HU YUYU
-------	-----	-----	---------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
研究室の院生の研究課題に対して実験の設計・実施、アンケート調査の設計・実施及びデータ分析に関連する具体的な助言・指導を提供した。 2023年5月に、武漢大学で交流活動及び3回講演を行った。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
researchmap に記入したもの以外は特にない。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
2023年6月にダイキンの発表会に参加し、ポスター発表を行った。 2023年6月に日本生活学会に参加し、二つのポスター発表を行った。 2023年7月・8月にテイ・エステック（株）への学術指導を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
特にない。

所属学系：	行動学	氏名：	中井 宏
-------	-----	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
日本応用心理学会優秀大会発表賞 中部電力株式会社受託研究

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
警察庁、二輪車車両区分見直しに関する有識者検討会委員 警察庁、教習車両及び教習カリキュラム等の在り方に関する調査研究委員 京都市、京都市自転車政策審議会委員 大阪自動車学校協会、自動車学校職員総合講習講師 京都府道路交通環境安全推進連絡会議、アドバイザー委員 大阪府警察、安全運転管理者講習講師 京都府教育庁、学校安全教室指導者講習会（交通安全）講師 奈良県交通安全母の会連合会・奈良県トラック協会、奈良県交通安全団体活動指導者研修会講師 株式会社大林組他、万博工事安全衛生連絡協議会講師

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学	氏名：	秋保 亮太
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
書籍 1 件（分担執筆），学術雑誌寄稿 1 件（分担執筆），受託研究 1 件

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
企業学会のパネルディスカッション登壇 1 件，講演会講師 1 件，サイエンスカフェ登壇 1 件，オンラインセミナー講師 1 件

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学	氏名：	鹿子木 康弘
-------	-----	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
院生（博士後期課程 2 名、博士前期課程 6 名）、学部 4 年生 6 名、3 年生 5 名を主教員として指導した。院生による学会等の発表は国際学会（ポスター発表 4 件）と国内学会（RT 発表 1 件、口頭発表 2 件、ポスター発表 7 件）で計 10 件あり、修士論文 5 件、卒業論文 6 件が提出された。 昨年の 7 月には博士後期課程 1 年の学生が筆頭の論文が伝統のある国際誌に掲載された。またこの学生のレビュー論文も今年の 1 月に国内誌に受理されている。M2 の学生二人が投稿している論文 2 本はいまだ査読中ではあるが、さらにそれぞれが一本ずつ英語論文を現在作成している。また、今年に修士論文を出した学生 2 人の研究も、すでに国内誌に投稿をおこなっている。さらに、現 4 回生が 3 回生の時に取り組んだ研究も国際誌に掲載がきまっている。 また M2 の学生が昨年度の赤ちゃん学会で発表賞を、D1 の学生が関西心理学会で発表賞を授与された。 以上の取り組みからわかるように、学生に国内外問わない業績をださせるように心がけている。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
国際誌（Cognition, Social development, Cognitive development など）に 5 報の原著論文、国内誌（心理学評論）にレビュー論文を 1 報、掲載することができた。特に Sage open に掲載された論文は、3 回生のミニ卒を論文にしたものであり、特記すべき事項である。 外部研究資金としては、JST のムーンショット 9、JST 未来社会、株式会社デンソーとの共同研究の受託費は継続し、新たに基盤 B と基盤 C の分担金も取得している。さらに 2024 年 4 月からは 2 つの基盤 A の分担にもなる。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本認知科学会の編集委員、運営員、赤ちゃん学会評議員、関西心理学会委員、JPR 編集委員は継続中である。その中で、昨年度は、第 23 回赤ちゃん学会の大会長を務めたことが特記すべき事項である。また国際誌の査読を計 5 件行った。 さらに、去年のオープンキャンパスでは模擬授業を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
動物実験委員、障がい学生修学支援委員、公認心理師運営委員、倫理審査委員（補助）を担当したが、特に公認心理師運営委員において部局への貢献（前者は公認心理師プログラムの運営や実習の付き添い、会議への参加などがある）があったと思われる。また、大阪大学先導的学際研究機構 共生知能システム研究センター(SISReC)の認知脳科学研究グループメンバーにも入っている。

所属学系：	行動学	氏名：	萩原 広道
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
「学問への扉」にて実施した「大学生を体験するボードゲームの開発と研究」が端緒となり、学部学生の自主研究奨励事業への申請・採択に発展した。その後も学生とともにボードゲーム開発を進め、大阪大学公式クラウドファンディングに採択されたことをきっかけに、プレスリリースや複数の体験会、メディア報道（共同通信、朝日学生新聞、NHK 大阪など）に至った。 着任1年目にして、大阪大学新任教員研修プログラム30時間分の修了証を受領した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
発達心理学の一流国際誌 Developmental Science に筆頭論文が accept され、現在印刷中である。本研究はプレスリリースも予定している。 また、言語発達の学術研究を一般市民にもわかりやすくリーチしやすいものにするために、単著本『子どもとめぐることばの世界』（ミネルヴァ書房）を執筆し、現在予約受付中である。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本赤ちゃん学会第23回学術集会の実行委員を務めた。 発達心理学会インターネットニュース委員の副委員長に就任した。 京都市立総合支援学校教育研究会にて講演を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
大阪大学大学院人間科学研究科 大阪大学 FD 研修／新任教員研修プログラムとして、「研究室・ゼミ指導で活かせる！「今どき」の学生を 理解するワークショップ：学生と開発したボードゲームを使って」を企画・実施した。 大阪大学大学院人間科学研究科、公認心理師プログラム運営室の室員を務めた。 大阪大学 FFP10 周年記念シンポジウム「新しい時代の博士人材をどう育成するか？ ―ブレ FD を中心に―」にパネリストとして登壇した。

所属学系：	行動学	氏名：	八十島 安伸
-------	-----	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
・人間科学部一年生向けの共通科目である「人間科学概論」の主担当として、各担当教員やミニトークを行う大学院学生等との連絡・調整などの授業の企画・運営を主導し、受講生からのレポートの採点評価を担当した。 ・人間科学研究科の大学院学生に加えて、生命機能研究科の大学院学生の研究指導・修士論文指導を行った（指導した3名の大学院学生のうち、2名が海外からの留学生）。 ・生命機能研究科の兼任教員として、複数の同研究科大学院学生の博士論文への予備審査委員も務めた。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
・浦上食品・食文化振興財団研究助成に基づく研究を継続した。 ・同志社大学・関西学院大学の研究者と合同発起人として大学院学生・若手研究者が研究発表を行うための新しい研究会を開始した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
・日本味と匂学会の運営委員として同学会の運営に関わった。 ・複数の国際ジャーナル（Neuroscience Research, Behavioural Brain Research, Neurobiology of Learning and Memory, Learning and Motivation）への投稿論文の査読者を務めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
<全学委員会> ・遺伝子組換え実験安全委員会委員 ・超高圧電子顕微鏡センター運営委員会委員 ・基礎工学研究科における人を対象とした研究に関する倫理委員会委員 ・動物実験委員会委員 <部内委員会> ・大学院入試運営委員会 ・入試検討・検証チーム ・附属比較行動実験施設運営委員会委員長 ・附属比較行動実験施設長 ・動物実験委員会委員長 ・人事計画委員会委員長 ・公認心理師プログラム運営室室員

所属学系：	行動学	氏名：	足立 浩平
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
自著の英文テキストを用いて、日本語で、多変量解析の諸方法に関する集中講義を、授業録画視聴方式で行った。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科研費・基盤研究(C)の補助を受けて、因子分析と主成分分析の諸方法の階層関係に関する研究等を行い、その成果を、DSSV(Data Science, Statistics and Visualisation)2023 や JGSC2023(The 8th Japanese-German Symposium on Classification)などの学会大会で発表した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
Computational Statistics 誌や Behaviormetrika 誌をはじめとした統計科学の学術誌に投稿された論文のハンドリングを行った。さらに、Behaviormetrika 誌では、Advances in Multivariate Data Analysis と題した特集を企画して、論文投稿を募集し、投稿論文のハンドリングを行っている。また、McGill 大学心理学部および同志社大学文化情報学部に提出された統計科学に関する博士論文(2 篇)の審査を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学	氏名：	山本 倫生
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
研究室での教育に関して、研究成果の国際会議での発表を積極的に支援し、今年度は研究室の学生が 4 件の発表を行った。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
以下の研究費の受け入れを行った。 科学研究費補助金 基盤研究(B)（研究分担者）「新たな複雑系データのための関数データ解析手法の開発と適用」（課題番号：23H03352） 科学研究費補助金 基盤研究(C)（研究代表者）「スパース経時データのクラスタリング法の開発と臨床医学への応用」（課題番号：21K11787） 科学研究費補助金 基盤研究(B)（研究分担者）「健康関連時空間データにおける複数クラスタのモデリング・検出・評価法の開発」（課題番号：21H03402）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
以下の各委員として、社会貢献活動を行った。 「データ分析の理論と応用」編集委員会委員 「行動計量学」編集委員会委員 Associate Editor for Japanese Journal of Statistics and Data Science Associate Editor for Behaviormetrika 日本行動計量学会 理事 日本行動計量学会 運営委員会委員 日本行動計量学会第 52 回大会 副実行委員長 理化学研究所 革新知能統合研究センター 客員研究員

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
以下の委員として、大学管理運営に貢献した。 教務委員会委員

所属学系：	行動学	氏名：	中野 良彦
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
全学共通教育科目の「行動学の話題」を担当した。非常勤講師として同志社女子大学及び関西学院大学にて、いずれも「自然人類学」の授業を担当した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
全学の吹田地区事業場安全衛生委員会委員をつとめた。 部局の安全衛生委員会委員長、防災対策委員会委員長、動物実験委員会委員、財務会計委員会委員、産学官連携問題委員会委員、安全衛生推進室長、安全保障輸出管理アドバイザー、全国人間科学系部局ネットワーク運営委員会委員をつとめた。

所属学系：	行動学	氏名：	設樂 哲弥
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
第 77 回日本人類学会大会若手会員大会発表賞受賞

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学	氏名：	勝 野吏子
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
今年度担当した比較行動学演習Ⅰ・Ⅱの一部を、生きているミュージアムニフレルにおいて行い、ニフレル職員と合同で行動観察法、データ集計・解析に関する実習や、研究発表会を実施した。8月に外部講師を招聘して比較行動学セミナー（公開）を行い、学生に比較認知科学に触れる機会を設けた。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
代表者として若手研究「音声同調への選好が社会的結合に及ぼす影響：野外霊長類における検討」、分担者として基盤研究(S)「コミュニケーション行動の進化的基盤としての模倣・共感・報酬」に採択された。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本霊長類学会の理事として保全・福祉関連活動を担当した。環境省による「特定鳥獣保護・管理計画作成のためのガイドライン」改定に際し、日本霊長類学会としての意見（パブリックコメント）作成等を担当した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	行動学	氏名：	山田 一憲
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
動物行動学を学ぶ学部生と大学院生を学外のフィールドに連れて行って、一般市民や小学生や高校生に動物行動学を教えるイベントを行うことで、教えながら学ぶの実践を行った。学生による 15 回の学会発表を指導した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
採食戦略、社会行動、メタ認知、保全管理、観察法の普及、採食と腸内細菌の関連に関わる多様な研究を行い、論文を 5 本出版した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
ニホンザルの行動観察を普及させるために、観察会や講演といった企画を 15 件行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
学外施設である神庭の滝ニホンザル観察所と勝山ニホンザル集団の維持管理を行った。

4-2. 社会学・人間学系

講座名等	教員氏名
社会環境学	川端 亮
	CROYDON Silvia
	遠藤 知子
	山田 陽子
	吉川 徹
	五十嵐 彰
	辻 大介
	山中 浩司
社会学系共通	王 文潔
	齋藤 僚介
基礎人間科学	森田 邦久
	村上 靖彦
	野尻 英一
	福岡 まどか
	白川 千尋
	森田 敦郎
	鈴木 和歌奈

※計 17 名 掲載順

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	川端 亮
-------	---------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
特になし

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科研費 B が採択された。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
IMPACT プロジェクトの緒方らぼの活動として、復興支援酒「緒方洪庵」の販売による西予市野村町の復興支援にかかわった。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
特になし

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	CROYDON Silvia
-------	---------	-----	----------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
特に無し

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
日本学術振興会において国際研究強度強化資金を受け取り、英国のオックスフォード大学の研究者と共同研究を行いました。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
4th IAFOR Conference on the Arts and Humanities にて研究結果発表を行いました。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
教育国際化推進委員（CPIE）、G30 人事募集委員。

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	遠藤 知子
-------	---------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
国際ジャーナルのスペシャルイシュー企画に応募し、受入中の外部資金（国際共同研究強化 B）の研究プロジェクトが採択された。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
2023 年 9 月まで East Asian Social Policy Research Network の事務局を務め、9 月にシドニーで開催された年次大会の企画・運営を務めた。 2023 年 4 月から現在まで協同総合研究所の理事を務めている。 日本政治学会の学会誌、『年報政治学』の査読者を務めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
社会系の教務委員、国際交流室委員、研究倫理委員を務めた

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	山田 陽子
-------	---------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
社会環境学実習Ⅲ（秋冬学期）において、洲本市と大阪大学の「域学連携」のもと、洲本市でワーケーションとまちづくりに関わるフィールド調査を行った。地域社会と教育の成果は、「淡路島クエストカレッジ」のウェブサイトと現代社会と社会理論講座のホームページにて発信している。取り組みについて、読売新聞の地域欄にも特集記事が掲載された。 ・淡路島クエストカレッジ https://note.com/awaji_qc/n/nd53c71ca8659 ・現代社会と社会理論研究室「ワーケーションにみる”働くこと”の多様性とまちづくり」 https://gensya.hus.osaka-u.ac.jp/news/post-753/

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
【外部研究資金】 1. 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(B)「集合意識」から「情動の社会学」へーデュルケーム社会学の現代的展開，2022年4月 - 2026年3月 2. 一般社団法人デサイロ研究助成金「ポスト・ヒューマン時代の感情資本」2022年6月 - 2025年3月 3. 大阪大学大学院人間科学研究科附属未来共創センター IMPACT オープンプロジェクト「多様性の中のウェルビーイング」2023年6月 - 2024年3月 【学術的な国際交流、海外研究者の招聘、来日セミナーの企画・運営・登壇】 1. 「趣旨説明と講演者紹介」，エヴァ・イルーズ教授来日連続セミナー 第1回「感情・集合意識・ポピュリズムー現代社会における政治的分断をいかに考えるか」2024年3月11日、日仏会館 2. 「コメント」，エヴァ・イルーズ教授来日連続セミナー 第2回「感情・親密性・資本主義ー愛の終焉とエモディティ（感情商品）」2024年3月13日、大阪大学中之島センター 【論文】 1. 「死にたさ」とともに生きる（特集：ケアから社会を構想するーポストコロナの社会理論）『フォーラム現代社会学』22: 96-109, 2023. 2. Social Exclusion and Inclusion of Suicidal Feelings, Osaka Human Sciences, 10: 201-218, 2024. 3. 「エモディティ／感情商品ー愛と消費者的選択」『精神療法』49(2): 235-238, 2023. 【口頭発表】 1. 「感情社会学の現在」阪大社会学研究会 2023年7月.

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
【社会教育活動】 1. 絵画&ダンスのライブパフォーマンスとシンポジウム「多様性の中のウェルビーイング 芸術・雇用・社会」の企画立案・運営等，パネル司会・セッションチェア，大阪大学附属未来共創センターIMPACT オープンプロジェクト「多様性の中のウェルビーイング」（プロジェクト責任者・山田陽子）（大阪大学中之島センター 10階佐治敬三メモリアルホール）2024年3月20日 2. 講演「心をめぐる科学・労働・政治」，「ありふれた臨床」研究会オープンセミナー，2024年2月23日. 3. 講演「死にたさ」とともに生きる」，認定NPO法人国際ビフレンダーズ 大阪自殺防止センター 電話相談ボランティア継続研修，2023年9月30日

4. パネリスト「中間報告：ポスト・ヒューマン時代の感情資本」，一般社団法人デサイロ De-Silo Meetup 「いま私たちはどんな時代を生きているのか」を4人の研究者と考える 2023年8月29日.

【学会活動】

1. 関西社会学会理事
2. 科学社会学会 第12回年次大会実行委員会
3. デュルケーム/デュルケーム学派研究会世話人

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

1. IMPACT 運営委員会 委員
2. ハラスメント防止委員会 委員
3. 総合型選抜 入試問題作問委員
4. 夢ナビ講義ビデオ 出演

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	吉川 徹
-------	---------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
社会調査士・専門社会調査士資格申請の連絡責任者として、カリキュラムを設計し、科目を担当し、各種申請を行っている。21 年目になる。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科学研究費補助金研究について、研究代表者として基盤研究 A、挑戦的研究（開拓）、の助成を受けているほか、基盤研究 B2 件、基盤研究 A1 件の研究分担者となっている。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本社会学会理事、日本教育社会学会理事、関西社会学会理事、NHK 放送文化研究所審議委員、同人誌ソシオロジ編集委員、文科省審議会委員、日本学術会議連携会員、社会調査協会社員・理事、島根県立大学法人評価委員、統計数理研究所公募型共同研究書類審査員、などを務めている。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
部内財務会計委員長として予算設計等にあたった。人事選考委員として 2 件の人事に携わった。

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	五十嵐 彰
-------	---------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
定評のある査読付き国際誌に1件掲載、査読付き国内誌に1件掲載

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
第76回数理社会学会大会の大会委員長として大会を主催・開催。 一般財団法人国際経済交流財団の研究委員として、政策提言。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	辻 大介
-------	---------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
編著『ネット社会と民主主義——「分断」問題を調査データから検証する』（有斐閣、2021 年）が、2022 年度電気通信普及財団賞（第 38 回）テレコム人文・社会科学部門奨励賞を受賞した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
近畿圏の自治体・教育委員会等において、インターネットと人権問題に関わる講演を 15 件行なった。 総務省「安心・安全なメタバースの実現に関する研究会」の構成員を務めた。 大阪府「「インターネット上の誹謗中傷・差別等に関する専門相談窓口設置・運営事業」に係る公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会」の委員を務めた。 持続化給付金等支払請求控訴において東京高等裁判所に提出する意見書を執筆した。 日本メディア学会第 28 期理事（企画委員会担当）を務めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
入試委員会、施設マネジメント委員会、情報セキュリティ委員会、サイバーメディア室

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	山中 浩司
-------	---------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
学部 卒論主査 8 本、共通教育非常勤 6 科目の世話教員 大学院 修士論文主査 3 本、博士論文副査 4 本、高度副プログラム「ユネスコチェア」の運営、「生命倫理学」授業担当（医学系研究科 医の倫理教室兼任）、「大阪大学の歴史」授業担当（適塾記念センター兼任）、「社会における科学技術特定演習」担当（STiPS 科目）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
ISA 報告（7 月 2 6 日、メルボルン）、科研費研究「慢性疾患における病の社会的地位」（基盤 C，代表）「学際的アプローチによる精神科病棟看護における自己決定支援の視点・要件の可視化」（基盤 C，分担）、RISTEX-ELSI ELSI プログラム「公正なゲノム情報利活用の ELSI ラグを解消する法整備モデルの構築」（分担実施者）などの実施。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
科学社会学会大会主催（9 月 1 7 日、人科）、バリアフリー展示会での講演（4 月 2 1 日、インテック大阪）、関西教育 ICT 展セミナーでの講演（8 月 4 日、インテック大阪）、放送大学授業担当、国際障害者興隆センター（ビッグアイ）プロジェクトへの参加、生き方死に方を考える社会フォーラム開催（9 月 2 3 日中之島センター）、IMPACT プロジェクト「多様性の中のウェルビーイング」イベント開催（3 月 2 0 日、中之島センター）、吹田市男女共同参画審議会審議委員

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
図書室長、ハラスメント相談室専門アドバイザー、学系幹事教授、UNESCO Chair 事務局運営、本部人事との就労支援研究会主催、障がい者雇用促進ワーキンググループ委員

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	王 文潔
-------	---------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
2023 年度優秀論文賞「優秀フィールド実践記述革新論文賞」，実践としてのチームエスノグラフィ：2016 年熊本地震のフィールドワークをもとに，日本質的心理学会（共著論文，著者：宮前 良平，置塩 ひかる，王 文潔，佐々木 美和，大門 大朗，稲場 圭信，渥美 公秀）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
まち・コミュニケーション主催「つなぎ手発掘・発信プロジェクト」オンライン勉強会で講演（タイトル：支援初心者の受け皿の創出過程から得られた「つなぎ手」視点）

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	齋藤 僚介
-------	---------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
[論文] 齋藤僚介, 2023, 「国民の成員条件の複合と排外主義的態度のばらつき：両価性の理論に基づく予測から」『理論と方法』 38(2) 196-211. 永吉 希久子・潮村 公弘・田辺 俊介・齋藤 僚介・瀧川 裕貴, 2023, 「韓国人に対する偏見の表出と社会規範：IATを用いた潜在的偏見の測定と顕在的偏見との関連の検証」『理論と方法』 38(2) 212-224. 齋藤僚介, 2023, 「主観的経済状況による排外主義的ナショナリズムの説明：ナショナリズムの類型に着目して」『社会学評論』 74(3) 486-501 [発表] 尾藤央延, 齋藤僚介, 2024 「家事行動におけるフレームとしてのジェンダー規範の検討—顕在指標と潜在指標の比較—」数理社会学会 3 月 17 日 Ryosuke Saito, Akira Igarashi, 2024, "Analysis of vote share changes with nested-choice decomposition" The Japanese Society for Quantitative Political Science, 1 月 8 日 齋藤僚介, 瀧川裕貴, 2023, 「Affect Misattribution Procedure を用いた潜在的態度の測定とその有効性——顕在的態度との比較を通して」第 96 回日本社会学会大会, 10 月 8 日 吴硕博, 齋藤僚介, 稻増一憲, 2023, 「相手国の人に対する好感度における、個人の評価と他者への推測の関連——日本人の世代差に注目して——」日本社会心理学会第 64 回大会 9 月 7 日 齋藤僚介, 尾藤央延, 2023, 「家事スキルと社会関係が家事分担に与える影響」第 75 回数理社会学会大会 8 月 25 日 永吉希久子, 齋藤僚介, 潮村公弘, 瀧川裕貴, 田辺俊介, 2023, 「韓国人に対する偏見への記述的規範の影響:サーベイ実験を用いた検証」第 75 回数理社会学会 8 月 25 日 齋藤僚介, 稻増一憲, 2023, 「アメリカ大統領選における分極化とリベラル化:投票行動への Kitagawa 要因分解の応用」日本選挙学会 5 月 21 日

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	森田 邦久
-------	---------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
研究推進室長

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	村上 靖彦
-------	---------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
なし

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
なし

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
なし

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
副研究科長

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	野尻 英一
-------	---------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
大学院博士課程の学生について、国際先導研究科研費のプロジェクトによって、分野、大学、国にまたがる先進的な研究者として育成し、海外に派遣するためのプログラムを開始した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
自閉症スペクトラム障害（ASD）について、哲学・心理学の融合的アプローチによる研究を行い、心理学者との共著論文が評価の高い国際学術誌（Perspectives on Psychological Science）に受理された。（DOI: 10.1177/17456916231202674）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
ウィスコンシン大学マディソン校東アジア研究所、ジョージ・メイソン大学カーター・スクールを来訪し、講演、交流、研究提携打ち合わせ等を行った。未来共創センターIMPACT オープンプロジェクトにおいて「哲学の実験オープンラボ」を主宰し、学生の各種プロジェクト・行事開催の監督支援を行った。特に哲学を学ぶ社会人の方々をゲストとしてお招きしたラジオ番組放送は好評だった。NPO 法人グリーンケア・サポートプラザの理事として運営に関与し、自死遺族のケアについての業務を支援した。一般向けに専門の研究内容を解説する YoutubeLive 講座に依頼され出演した。日本ヘーゲル学会の理事としてフロンティア研究部会を運営し、社会に開かれた研究教育の場を実践した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
グローバル日本学教育研究拠点運営委員として、人文系オナー大学院プログラムグローバル日本学ユニット運営委員、教務委員を務めた。部局内委員のうち特に編集委員会で英文誌発行の質向上のため、新規に出版社を調査し、選定する作業を担当した。

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	福岡 まどか
-------	---------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
講義、演習、実技を統合した芸術関連授業、中之島芸術センターでの多研究科の学生に向けた授業の実施、など

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科学研究費補助金(基盤 B) 継続、 京都大学東南アジア地域研究研究所令和 5 年度共同利用共同研究拠点「グローバル共生に向けた東南アジア地域研究の国際共同研究拠点」 採択

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
研究成果の公開を兼ねた上演会を実施(2024 年 3 月 2 日 大阪大学 21 世紀懐徳堂スタジオにて 創作演劇の上演を実施)

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
入試関連の委員 部内広報委員 ハラスメント相談員

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	白川 千尋
-------	---------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科研・基盤B（一般）『東南アジア・オセアニア地域における呪術の効果に関する文化人類学的研究』研究代表者。科研・基盤C『タイ北部山地先住民のエスニック・セキュリティとその最適化に関する人類学的研究』研究分担者。国立民族学博物館文化資源共同研究員。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
国際協力機構海外協力隊技術専門委員。特定非営利活動法人国際マラリア対策団副理事長。WHO 神戸センター・フォーラム 2023 アドバイザー。日本文化人類学会代議員。日本文化人類学会理事。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
総合学術博物館兼任教員。海外研究活動検討委員会委員長。未来共創センター運営委員会委員。人事委員会委員。シリーズ人間科学編集委員会委員。

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	森田 敦郎
-------	---------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
大学院共通科目フィールド調査法特講の企画運営を行なっている

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科研費基盤（A）と挑戦的研究（開拓）を実施中

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
大阪大学フォーサイト取締役 デンマーク工科大における PhD コースの講師 本学・産学連携機構の次世代価値創造拠点事業に協力して調査を実施 京都市右京区京北地域にて市民工房 ファブビレッジ京北の共同運営に参画 （株）ロフトワーク、UR、（株）日建設などにて講演

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
倫理委員長

所属学系：	社会学・人間学	氏名：	鈴木 和歌奈
-------	---------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
Amsterdam 大学で、先端的な文化人類学を学ぶコースでゲスト講師として授業を行なった

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
住友生命・女性研究者支援「未来を強くする子育てプロジェクト」を受賞し、助成金を取得

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
動物実験委員会

4-3. 教育学系

講座名等	教員氏名
臨床教育学	岡部 美香
	藤川 信夫
	西森 年寿
	後藤 崇志
	野坂 祐子
	阿部 望
	老松 克博
	野村 晴夫
	佐々木 淳
	管生 聖子
	村中 誠司
教育環境学	木村 涼子
	荒牧 草平
	園山 大祐
	高橋 哲
	岡田 千あき
	北山 夕華
	高田 一宏
	三上 純
教職	玉城 明子
	松枝 拓生

※計 21 名 掲載順

所属学系：	教育学	氏名：	岡部 美香
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
・ゼミ合宿を実施（1回） ・他大学との合同で大学院生ゼミ合宿を実施（1回） ・先進的な教育実践校訪問・先進的な取り組みをしている教育実践者へのインタビューを実施（4回） ・教育哲学研究に関連する読書会（アーレント（英語）読書会、アーレント（独語）読書会、古典読書会、仏教読書会、詩を読む会）を5つ開催（それぞれ週1回） ・高度副プログラム「日本におけるマイノリティ教育の理論と実践」の運営（2年目で、初の修了者2名）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
・教育哲学会編集の『教育哲学事典』の共同編集と執筆。 ・大阪大学社会ソリューションイニシアティブ・基幹プロジェクト代表者 ・大阪府教育庁とコラボで、大阪府高等学校の「総合的な探究の時間」の授業カリキュラムを大学生（人間科学部・基礎工学部）・大学院生（人間科学研究科）と共同研究開発（来年度、府内の推進モデル校で実施するとともに、夏休みに府内高等学校に公開で実施予定） ・小学館・子どもリビングとコラボで、幼稚園・保育園における「遊びを通した安心して過ごすことのできる心身づくり」（紙芝居・ゲーム）を大学生（人間科学部・文学部）と共同研究開発（来年度、府内のモデル園（幼稚園・保育園）で実施予定）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
・教育哲学会・常任理事。この常任理事として倫理規程WGを設立。WGの取りまとめを行っている。規程策定中。 ・教育哲学会・機関誌『教育哲学研究』編集委員長。機関誌の構成の再編成、実践・臨床を主題とする新コーナーの設置はすでに実施。査読プロセスの公開を検討中。 ・教育思想史学会・理事。この理事として、Inclusion & Diversity WGを設立。WGの取りまとめを行っている。I&Dにかかわる会員へのアンケートを実施。 ・日本教育学会・研究推進委員会委員長。8月の学会・年次大会のシンポジウムを2つ企画。教育学関連学会連絡協議会の幹事も兼任。 ・日本教育学会・Educational Studies in Japan 編集委員会委員。2つの号の査読担当と1つの号の特集を企画・編集。 ・日本教育学会・近畿地区理事として、シンポジウム1つを企画実施。 ・Philosophy of Education Society Australasia の年次大会に、日本の教育哲学会の編集委員長として招聘され、他国の教育哲学会の学会長、編集委員長等と会談。今後の国際交流および教育哲学研究の活性化について議論。 ・Asian Link of Philosophy of Education 2024（2024年8月に実施予定）の企画運営。 ・大阪府教育委員。 ・大阪市旭区「あさひ育み学び舎連絡会議」アドバイザー。 ・大阪府守口市立守口さつき学園夜間学級の「総合的な学習の時間（国際交流）」に講師（人間科学研究科・留学生）2名を派遣。 ・日本学術会議・会員（2023年9月まで。排除・包摂と教育分科会委員長。第一部総合ジェンダー分科会幹事。ジェンダー教育推進小委員会委員長）。 ・大阪ガスと児童福祉施設でのワークショップを共同運営。

- ・大阪府立大手前高校の大学見学・模擬授業体験の受け入れ。
- ・SLiCS 主催、GLHS 大阪大学ツアーで模擬授業実施。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

- ・大阪大学社会ソリューションイニシアティブ・運営委員
- ・「いのち会議」市民部門 Action Panel 5 構成員。
- ・「いのち会議」ユースチーム指導助言。
- ・オランダ教育・文化・科学省（研究科学政策局長、研究科学政策局上級企画官）、オランダ科学研究機構国際政策部門責任者、オランダ王国総領事館総領事、同領事館・経済部商務官との懇談に参加。「いのち会議」教育部門の活動を説明。
- ・学生支援室・室長
- ・人間科学部同窓会事務局長
- ・人間科学研究科運営協議会委員

所属学系：	教育学	氏名：	藤川 信夫
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
後期授業「人間変容論Ⅱ」において、演劇ワークショップの要素を盛り込み、ワークショップを受ける・行うの両面で体験学習が可能のように工夫した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
（１）教育哲学会の E-Journal に科学研究費による研究「道徳授業分析への適用を通じた「エスノメトリー法」の有用性と妥当性の検証」（基盤 C・21K02170）の研究成果” The applicability of the ‘ethnometric method’ as a support tool for teachers’ self-evaluation: Focusing on children’s physical expressions related to ‘personalization and empathizing’ in moral education” を英文で刊行した。 （２）教職用教科書『実践につながる道徳教育論』において、上記研究成果の一部を出版予定である（2024 年 3 月刊行予定）。 （３）シンポジウム「アーヴィング・ゴフマンと状況の社会学」を主催者として開催した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
（１）教育哲学会理事 （２）教育思想史学会理事 （３）大阪市立丸山小学校学校評議会委員 （４）大阪市立松虫中学校学校評議会委員 （５）福岡県立八幡高等学校 1 年生向け研修「令和 5 年度 関東・関西研修（8 5 Shine）」の枠内での模擬授業 （６）ACCD 大学コンソーシアムからの研究活動奨学寄付金により特任研究員を受け入れ共同研究を行う （７）三菱みらい財団からの教養教育プログラム推進奨学寄付金により特任研究員を受け入れ共同研究を行う

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
教育学系幹事教授

所属学系：	教育学	氏名：	西森 年寿
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
超域イノベーション、オナー大学院の運営にかかわる委員会への参画

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
なし

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本教育工学会副会長、大阪狭山市学校づくり応援事業・学校運営協議会（第七小学校）

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
人間科学研究科副研究科長

所属学系：	教育学	氏名：	後藤 崇志
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
教育工学演習Ⅰにて、学生自身に探究活動に取り組んでもらった上で、小・中学生の自由研究における探究活動を支援するワークショップを行なった。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
昨年度に引き続き、発達科学研究教育センターより研究助成を受けた。また、大阪科学技術センターより、令和5年度（2023年度）「未来の教室」実証事業の研究委託を受けた。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
大阪府立豊中高等学校の学校運営協議会委員を務めた他、同校の探究授業の指導・助言を行なった。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
部局内の研究倫理審査委員を担当した。

所属学系：	教育学	氏名：	野坂 祐子
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
児童相談所や児童自立支援施設と連携して、非行のある少年と家族の支援プログラムの開発と実践を行っており、研究室の学生・院生に児童福祉現場のフィールド参画の機会を設けている。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科研（代表 1、分担 4）の研究を継続して行った。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
【警察庁】基本計画策定・推進専門委員会 委員（被害者支援に関する支援計画の策定と推進） 【警察庁】犯罪被害者等施策推進会議 委員（被害者支援に関する施策の推進） 【こども家庭庁】児童買春・児童ポルノ被害児童の保護施策に関する検証・評価専門委員会 委員（子どもの性的搾取・性被害に関する保護と実態調査） 【民間】特定非営利活動法人 大阪被害者支援アドボカシーセンター 専門支援員（犯罪被害者支援の実務） 【民間】特定非営利活動法人 ふれいす東京 理事（HIV/AIDS への支援および研究） 【民間】特定非営利活動法人 もふもふネット 理事（性暴力加害/被害への支援および支援者養成）

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
ハラスメント全学相談員、（部局内）ハラスメント相談員 防災対策委員会・部局安全衛生委員会 委員 公認心理師プログラム室（兼任）

所属学系：	教育学	氏名：	阿部 望
-------	-----	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	教育学	氏名：	老松 克博
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
卒業・修了要件となる通常の授業の他に、臨床心理士資格取得のための授業が多数あるが、大過なく終えた。そのなかには、不定期で長時間におよぶ臨床実践に不可欠な授業もあるし、内部実習施設（一般市民を対象に学生が心理療法を実施する）における心理臨床上の危機対応なども含まれている。今年度は covid19 対策を緩和しつつも継続し、内部実習施設を安全かつ有効に運営していくための苦労があった。また、公認心理師の養成にも尽力した。公認心理師養成プログラム運営室の活動を分担するかたちで、授業のみならず、カリキュラムの整備、外部実習先の開拓や巡回指導などに多くの時間を費やした。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
また、心理臨床の実際に即した論文が今年度末発行予定の専門誌に掲載されることになっている。また、長年の研究活動の集大成となる著書（単著）の執筆に取り組んできた。ただし、その出版は来年度になる見込み。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
研究科附属心理教育相談室の室長として、広く一般市民を対象とする心理臨床活動を行い、社会の健康増進に寄与した。また、いくつかの相談機関や研究機関において、臨床活動や研究活動への助言、研修会の企画および実施運営、資格の審査をするなどの貢献をした。たとえば、阪大附属病院と連携し「心のケアチーム」のアドバイザーとして活動した。いくつかの学術団体の理事や学術誌編集委員として学術の発展普及にも尽力した。また、非常勤の医師として、外部医療機関で臨床研究を進めながら一定の社会貢献もはたしている。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
全学では、ステューデント・ライフサイクル・サポート（SLiCS）センター運営委員として、入試の現状の分析や改革計画の作成などの協議に関わった。部局では、評価委員として評価計画立案のための情報収集に携わったほか、心理教育相談室運営委員として研究科附属心理教育相談室の運営に当たった。また、公認心理師養成プログラム運営室の委員として、全学を対象としたプログラムが円滑に運営できるよう尽力した。

所属学系：	教育学	氏名：	野村 晴夫
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
公認心理師プログラム運営室長として、公認心理師養成の全体を統括した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科学研究費補助金基盤C「高齢期における回想の社会的共有過程のナラティブ・アプローチによる探索」を受け入れた。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本心理学会編集委員，日本教育心理学会編集委員，臨床心理士養成大学院協議会理事，奈良いのちの電話協会研修講師

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
教務委員，公認心理師プログラム運営室長，「シリーズ人間科学」編集委員長

所属学系：	教育学	氏名：	佐々木 淳
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
大学院ゼミでは博士課程・修士課程で7名の指導を行った。満期退学者1名が課程博士を取得した。博論副査1名、修士号2名、学士号3名の指導をした。院生と査読付き5本の共著学術論文を刊行した。臨床心理士コースはインテーク・ケースカンファレンスなどで、公認心理師プログラムでは事前事後実習や巡回で指導を行った。1名が臨床心理士と公認心理師国家資格の両方を取得した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
関係念慮についての尺度開発および病理学についての英語論文を1件出版した。心理療法のトレーニングプログラムである SP/SR プログラムについての基盤研究Cによって、日本心理学会や一般社団法人 MCT-J ネットワークなどで研修会を行っている。またこのプログラムの大学院生にとっての受容性について、国際学会発表1件をおこなった。院生との共同研究について、査読付き学術論文に5件、国際学会発表が3件、国内学会発表が2件行われた。また、精神病理についての単著1冊が印刷中である（24年度4月刊行予定）。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本学術会議第一部連携会員・幹事、日本心理学会・公認心理師養成大学教員連絡協議会学部カリキュラム・ワーキンググループメンバー、日本認知療法・認知行動療法学会常任編集委員・公認心理師あり方委員会委員、近畿認知療法・認知行動療法学会世話人、公認心理師の会理事・研修会委員長、大阪府臨床心理士会産業部門運営委員などを務めた。理化学研究所臨床心理士・某企業嘱託心理カウンセラーで臨床活動を行う傍ら、研究者のメンタルヘルス対策についての講演会およびセルフケア研修会を行った。日本産業ストレス学会評議員を務めた。国際交流活動としては、かねてよりの共同研究先である Concordia 大学と継続して研究をしている。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
附属心理教育相談室副室長として臨床心理士養成コースおよび心理教育相談室の円滑な運営に加え、兼任となっている公認心理師プログラム運営室における本省への確認申請書類の作成やとりまとめ、複数の学外実習先の開拓、事前・事後実習としての指導、実習先への巡回指導を行った。またオープンキャンパス模擬授業を担当した。学業支援チームでの対象学生のモニタリング、動物実験委員会委員を担当した。

所属学系：	教育学	氏名：	管生 聖子
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
行政や企業と連携しながらのアウトリーチ活動に学生を引率し指導（万博記念講演での吹田フェスティバルや吹田市健康フェスティバルへの出展など）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科学研究費補助金（基盤研究C）主任研究者、 科学研究費補助金（基盤研究C）分担研究者、 文部科学省 Society 5.0 実現化研究拠点支援事業

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
島根県医師会指定医研修講師、 山形県子ども成育支援課研修講師、 認定NPO法人ピッコラーレ研修講師、 きんでん株式会社社員研修講師、 金沢県立看護大学グリーンケア検討会講師、 母性衛生学会招聘シンポジスト 厚生労働省技術審査委員 大阪大学 ライフデザイン・イノベーション研究拠点ライフスタイルプロジェクト

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
障がい学生支援委員会委員長、 公認心理師運営室委員、 心理教育相談室運営委委員、 医学部附属病院胎児診断治療センター委員 医学部附属病院胎児診断治療センター臨床心理士外来担当

所属学系：	教育学	氏名：	村中 誠司
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
パワーポイントを使用する代わりに、Notion で作成したノートをもとに授業を実施しました。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
令和 5 年度職域における心の健康関連サービス活用に向けた研究会 デジタルメンタルヘルス部会 委員

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	教育学	氏名：	木村 涼子
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
今年度は基本的に対面授業にもどり対面の良さを存分に活かすように努めたが、新型コロナウイルス感染対応時期に発展・普及した CLE やオンライン授業の手法を部分的に取り入れることで、より充実した内容になるよう心がけた。大学院授業については、社会人や遠方に住む学生へのオンラインでの演習参加や個別指導を適宜取り入れることできめ細かい指導ができたと考える。修士論文・博士論文執筆とそのための実証研究、主要な学会大会での口頭発表、査読付きの学術誌への投稿を促し、それらに向けての丁寧な指導を心がけた。結果、指導する大学院修士2名が修士論文を提出し、本学あるいは他大学の博士後期課程に進学した。後期課程の大学院生に対しては、最終的には副指導となったが、この3年間指導してきた学生が博士論文を提出するに至った。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
教育とジェンダーに関する学術書・テキストなど、共著にて複数の執筆をおこなった（そのうち出版済1本）。近代日本の家事労働と主婦イメージについて、単著の執筆をすすめた。この単著については次年度に持ち越し、完成を目指している。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本教育学会および日本教育社会学会、日本女性学会において理事・監事を務め、ダイバーシティ・ジェンダー平等関連や、学術シンポジウムの開催、学会誌編集に関して貢献した。また、財団法人やNPO、新聞社などによる、ジェンダー平等や子育て問題などに関する啓発記事の執筆、取材の依頼に応えた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
全学では、人権問題委員会委員、総合型選抜小論文責任者、部内では広報委員会委員長、HP 担当責任者、ハラスメント防止委員会副委員長、研究倫理委員会、心理教育相談室運営委員などをつとめた。

所属学系：	教育学	氏名：	荒牧 草平
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
単著の出版 研究代表者としての科研費（基盤 B）の受入

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本教育社会学会：理事および事務局（企画部部長） 日本家族社会学会：理事および研究活動委員 日本社会学会：社会学評論編集委員会専門委員 数理社会学会：編集委員 一般社団法人社会調査協会：表彰選考委員

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
教育学系副幹事 財務・会計委員（産学官連携問題委員） 紀要編集委員

所属学系：	教育学	氏名：	園山 大祐
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
フランス人研究者を招へいし、学生を交えたセミナーを開催した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科研費では、基盤研究（A）の代表をつとめた

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
ポワチエ大学との学術交流協定先と共同研究を実施。学会の課題研究で報告。理事を務めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
研究科の運営会議および人事計画委員会などの運営に参加。

所属学系：	教育学	氏名：	高橋 哲
-------	-----	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
日本学術振興会の国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))を獲得し、米国コンビア大学 Center for Educational Equity にて、マイケル・レベル教授とともに、司法を通じた教育政策形成の「訴訟実践モデル」に関する国際共同研究を遂行した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
JSPS サンフランシスコ研究連絡センター主催の日本人研究者交流会（2024 年 1 月 27 日）にて「司法を通じた教育政策形成を目指して」と題するポスターセッションでの発表を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	教育学	氏名：	岡田 千あき
-------	-----	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
・年度当初に目標としていたオンライン教材として「スポーツの課題解決の糸口を探る音声メディア『作戦タイム！』」を作成、公開した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科学研究費補助金の最終年にあたって英語論文1本（査読有り）、英語1本、日本語2本（査読無し）を発表した。目標としていた英語論文1本、英語1本、日本語1本を上回った。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
・複数の学会の理事、委員会委員、社団法人の外部委員、評議員、評価委員などを務めた ・国際協力機構の事業に専門家、有識者として参画した ・UNIVAS のシンポジウムを共催した

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
海外研究活動検討委員会委員を務めた

所属学系：	教育学	氏名：	北山 夕華
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科研費基盤 C に応募し、採択された。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
社会教育活動：とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ「生きるための『なぜ?』を考えるフェミニズム連続講座 2023」講師 外部の委員：吹田市教育委員会の社会教育委員、JSPS Noway-Japan Academic Network 理事 学会活動：International Association of Human Rights Education 理事、日本教育学会 研究推進委員、日英教育学会 監査

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
部局内：教務委員、教育国際化推進委員会委員、国際交流室委員 全学委員会：マルチリンガル・エキスパート・プログラム運営協議会委員

所属学系：	教育学	氏名：	高田 一宏
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
特記事項なし

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
科学研究費（基盤 C） 部落差別言説の変容に関する研究 「新しいレイシズム」研究の知見を手がかりとして（研究分担者）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
全国人権教育研究協議会・監事 日本教育社会学会 代議員

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
教育課程委員会教育実習専門部会 部会長

所属学系：	教育学	氏名：	三上 純
-------	-----	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
1. 韓国・忠南大学より留学生を受け入れた。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
1. 日本スポーツとジェンダー学会にて論文賞を受賞（共著2編） 2. 日本体育・スポーツ・健康学会にて学会奨励賞を受賞（単著） 3. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「体育嫌い」の沈黙する声に注目した体育カリキュラムの探究（課題番号：22K11635）研究分担者

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
1. 認定NPO法人虹色ダイバーシティが実施するniji VOICE2023の分析および報告会への登壇を行った。 2. 日本スポーツとジェンダー学会第7期（～2023年7月）および8期（2023年7月～）幹事。 3. 日本スポーツとジェンダー学会第22回大会にて実行委員を務めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	教育学	氏名：	玉城 明子
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
・全学教職科目「特別活動・総合的な学習論」：現場の教員に向けての「SNS のパンフレットづくり」 ・全学教職科目「教育方法論（ICT 活用を含む）」：中学校の公開授業から教師と生徒目線での授業検討会の実施 ・全学教職科目「教職実践演習」：総合的な探究の時間、課題探究での高校生の研究の伴走支援 ・全学教職科目「教育実習」：母校実習以外の実習先との連携、学校支援学生ボランティア支援 ・高大連携（大阪府立大手前高等学校・東海大学附属大阪仰星高等学校）：大学生による高校生へのキャリア教育ワークショップ支援 ・探究活動支援（大阪府立東高等学校・大阪府立旭高等学校・大阪府立豊中高等学校）：大学生による伴走支援、活動への意味づけ、リフレクションの機会支援 ・教員採用試験受験希望者への支援：自主勉強会サークルの立ち上げ・運営支援、面接・場面指導・模擬授業支援 ・教職課程履修学生への対応：個別支援の必要な学生への面談、関係各所（学内・学外）との連携強化

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
・令和 5 年度大阪大学大学院人間科学研究科ヒューマン・サイエンス・プロジェクト「すべての子どもの学力保障のための授業づくり」：生活背景にしんどさをかかえる大阪の子どもへの学力保障、授業研究 ・令和 5 年度西予市地域貢献研究事業「被災地における若者の体験伝承意識に関する比較研究」研究分担者：「全国高校生まちづくりサミット in 久慈」での大学生による高校生への探究活動支援

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
・大阪府立東高等学校「総合的な探究の時間中間発表会」指導助言 ・大阪府立旭高等学校国際文化科「探究発表会」指導助言・審査員 ・北海道浦河高等学校「課題研究全体発表会・学習成果発表会」指導助言・審査員 ・大阪府立豊中高等学校「課題研究発表会」審査員

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
【全学】教育実習等専門部会 委員

所属学系：	教育学	氏名：	松枝 拓生
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
特になし

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
特になし

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
・日本教育学会の査読誌『教育学研究』において査読を1件担当した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
特になし

4-4. 共生学系

講座名等	教員氏名
未来共生学	斉藤 弥生
	近藤 和敬
	中井 好男
	稲場 圭信
	志水 宏吉
	千葉 泉
	渥美 公秀
	宮本 匠
	ETZRODT CHRISTIAN
	Sainbayar Gundsambuu
グローバル共生学	澤村 信英
	杉田 映理
	大谷 順子
	河森 正人
	藤目 ゆき
	MOHACSI Gergely
	太田 貴大
共生学系共通	小川 未空
	ANDRIARINIAINA FANANTENANA RIANASOA

※計 19 名 掲載順

所属学系：	共生学	氏名：	斉藤 弥生
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
2023年4月より社会学・人間学系から共生学系に異動し、「共生学系・共生の人間学・福祉境論研究室」を運営し、院生（M生4人、D生7人）の指導教員を担当し、博士論文2本、修士論文3本、卒業論文1本を完成させることができた。 外部奨学金を獲得している院生は、日本学術振興会特別研究員（DC1）4名、本学「次世代」プログラム採択者1名、国費留学生1名、ロータリー財団奨学生1名であるが、うち2名が日本学術振興会特別研究員（PD）に採択された。 またD生1名が国際学会（2023 Transforming Conference/The University of Sheffield）での口頭発表（proceedings有）に採択され、D生を中心に第37回日本地域福祉学会（4件）、日本介護福祉学会（1件）、近畿地域福祉学会（2件）での口頭発表を行い、その指導を行った。 M生1名がスウェーデン・イエーテボリ大学（大学間協定校）に留学し、D生1名がデンマーク・ロスキレ大学に客員研究員として滞在中である（日本学術振興会若手研究者海外挑戦プログラムによる）。2023年10月にはフィンランド・ヴァーサ大学から、院生の来訪を受け、大学院生で研究会を開催し、院生同士がお互いの研究を発表した。このことがきっかけとなり、「まちづくりにみるコプロダクションのフィンランド・日本の国際比較研究」（仮）の国際共同研究の申請に至った。また12月には、本研究科と学術交流協定を結ぶスウェーデン・リンネ大学保健福祉学部より、3名の学部生が2週間滞在し、豊中市社会福祉協議会の協力のもと、「日本のコミュニティソーシャルワーク」の実習を行い、院生の皆さんの引率と通訳の協力と、人科IMPACT助成により国際交流事業を行うことができた。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
新規の科研費（基盤B、研究代表者）が始まり、年4回の定期研究会、韓国調査（8月）、ドイツ調査（9月）を実施した。その他に4つの科研の分担研究者として研究会の開催や出席、学会での報告を行った。国際共同研究推進プログラム（A+）はシェフィールド大学で開催された国際学会で研究発表を行い研究の一区切りとなった。2023年度は1つの国際学会、2つの国内学会で研究成果を発表し、計画通りに行うことができた。（具体の成果物はResearchmapに入力済）。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
吹田市社会福祉審議会委員長、吹田市地域包括支援センター運営協議会委員、箕面市保健医療福祉総合審議会委員、大阪府国保連合会苦情処理委員会委員長、社会福祉法人大阪府済生会千里病院倫理審査委員会外部委員、毎日新聞社会福祉顕彰審査委員等として、社会福祉事業、介護保険事業への助言等を行った。また10年を超えて続けているNHKラジオ講座「社会福祉セミナー」、放送大学「地域福祉の課題と展望」でメディアを通じた教育活動を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
【大学運営・全学委員会】教育オフィス（総長補佐）、シラバス整備・充実検討専門部会副会長、スチューデント・ライフサイクルサポートセンター会議委員、教育情報化ワーキング委員、教育課程委員会委員 【部局内委員会】教務委員会委員長、教育改革推進室委員、合理的配慮検討委員会委員 教務委員会として、新入生の導入教育の効果を高めるため、人間科学部1年生向け必修科目の再編を行った。入試業務の簡素化を行った。

所属学系：	共生学	氏名：	近藤 和敬
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
CREST の Multi-Sensing の領域アドバイザーになりました（2023 年 10 月から）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
JSPS の科研費の審査委員でした。 パリーナンテール大学と共同研究をやっています。3 月 28 日に共同研究会を開催し、研究室の学生が 4 人発表する予定です。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
教務委員会（共生学系）でした。

所属学系：	共生学	氏名：	中井 好男
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
教育活動に関する事項として以下の2点を挙げる。 ①共生学の実験実習における対話実践活動 まず、世代、ジェンダー、障害の有無、言語の違いなど多様な人々との対話の活動の場を設け、その後は対話、創作活動を受講生が組み立てていくことによって、対話者となって自己と他者への理解を深めるとともに、共生を生み出すための実践のあり方を自律的に考え、運用していく基礎的な能力の育成を目指した。 ②大学院、学部の講義におけるマイノリティとの対話 今年度は華僑三世の方とろう者の大学院生を招き、「日本人性」「優生思想」などを掘り起こし、その課題を考えるとともに、モダリティの異なる言語話者との対話や当事者の社会に対する思いに直接触れることによって、受講生の生活世界の捉え直しを試みた。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
今年度の研究活動としては学会発表、論文の受賞がある。 1) 学会発表 ①中井好男・丸田健太郎「TEM/TEAにおけるトランスビューとナラティブ」TEAと質的探究学会第2回大会 2023年6月10日 ②Yoshio, Nakai, "Coda as a Driving Force for a Welcoming Society" 2023 CODA INTERNATIONAL CONFERENCE 2023年7月1日 ③中井好男, 高智子, 北川幸子, 津坂朋宏, 荻田朋子, 鎌田修「自己紹介に求められるプロフィシエンシーとはー当事者と非当事者による協働オートエスノグラフィをもとにー」日本語プロフィシエンシー研究学会 2023年度研究大会 2023年8月9日 ④毛利貴美, 古川智樹, 中井好男, 寅丸真澄「ノートテイキングのトレーニングが学習者のノートに与えた影響」CASTEL/J 2023(2023年度日本語教育支援システム研究会国際大会) ⑤中井好男「コーダが捉えることばによるディスビリティ」IMPACT オープンプロジェクト「対話で進めるディスアビリティ・インクルージョン」シンポジウム共生社会の実現に必要な「ことばへのまなざし」とは 2023年9月1日 ⑥中井好男, 松尾香奈, 中山亜紀子, 丸田健太郎「モードの異なる言語話者の共生ーろう者の社会参加における課題ー」共生学会第2回大会 2023年10月21日 ⑦中井好男, 中山亜紀子「公共的な私と物語的真実を追求するオートエスノグラフィー」日本質的心理学会第20回大会 2023年11月5日 ⑧高智子, 中井好男, 荻田朋子, 津坂朋宏「多様な背景を持つ学習者にとって「自己紹介」は簡単なタスクなのかー「当事者」の葛藤を複線径路・等至性モデルで描くー」第13回国際日本語教育・日本研究シンポジウムーつながる多様性、広がる可能性ー 2023年11月19日 ⑨中井好男, 佐野香織, 嶋津百代「「私」を語らせる行為ー教師のオートエスノグラフィーから見えることー」2023年度日本語教育学会秋季大会 2023年11月25日 10 宮本敬太, 中井好男, 瀬井陽子「多文化共生」はいかに消費されているのかーその登場と歴史的経緯から考えるー「多言語・多文化社会における言語問題に関する研究」シンポジウム「日本社会におけるダイバーシティ研究の最前線：インクルーシブな社会の実現を目指して」 2024年2月10日 11 宮本敬太, 中井好男, 瀬井陽子「ダイバーシティ・エクイティ&インクルーージョンをめぐるスローガンの趣向と陥

弁」 言語文化教育研究学会第 10 回年次大会 2024 年 3 月 2 日

12 牛窪隆太, 三代純平, 牲川波都季, 北出慶子, 南浦涼介, 嶋津百代, 松田真希子, 中井好男, 佐野香織, 湊淳, 福村真紀子, 笹井一人, 田嶋美砂子「言語文化教育研究とは何か」 言語文化教育研究学会第 10 回年次大会 2024 年 3 月 3 日

13 嶋津百代, 佐野香織, 中井好男「オートエスノグラフィー・フェロー キックオフ・ワークショップ「はじめてのオートエスノグラフィー」 2024 年 3 月 18 日

14 中井好男, 津坂朋宏, 高智子, 荻田朋子「多様な時代において自己を表現するワークショップ」 2024 年 3 月 20 日

②受賞

優秀協働自己エスノグラフィー研究論文賞

対象論文: 中井好男・丸田健太郎 (2022)「音声日本語社会を生きるろう者家族の生きづらさー見えないマイノリティによる当事者研究」21 号, pp. 91-109.

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

1) 今年度は IMPACT オープンプロジェクトで予算をいただき、「対話で進めるディスアビリティ・インクルージョン」として多様な対話の場を設けた。その概要は以下の通りである。

①シンポジウム「共生社会の実現に必要な「ことばへのまなざし」とは」

オートエスノグラフィーによって分析して自身とことばとの関わりやそこに潜む社会的課題をもとに、ディスカッションや参加者の方々と議論を行なった。

②DE&I Café (障害者就労支援施設のパンとコーヒーの販売、2 回実施)

社会福祉法人クリエイティブサポートセンターえーぜっとと豊中びーのびーのの協力を得て実施。

③DE&I Café と喜多一馬さんのランチトーク (「医療介護障害福祉を通じたマチ支え」について) 上記の②の DE&I Café の中で株式会社 PLAST の喜多一馬氏によるランチトークを行った。

④手話カフェ (3 回実施)

Sign Art 村田雄樹講師による手話を用いたコミュニケーション

⑤合作俳句会「人生多面体。障害も俳句も働きも～合作俳句は座の文芸～」

NPO 法人こえとことばとこころの部屋 (ココルーム)・釜ヶ崎芸術大学上田假奈代氏、NPO 法人障害者の自立を支えるサポートネットワーク高木智志氏、大野雅彦氏、中井好男による座談会と合作俳句会

2) 委員

大阪府学校教育審議会専門部会委員

3) 学会活動

①言語文化教育研究学会 理事、年次大会副委員長

②日本語教育学会 チャレンジ支援委員、審査・運営協力委員

③社会言語科学会 学会誌編集委員

④共生学会 多様性拡充 WG

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

①全国人間科学系部局連携ネットワーク

②大阪大学就労支援研究会

③研究推進室

④広報

⑤共生学系研究倫理委員会

所属学系：	共生学	氏名：	稲場 圭信
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
スポーツ用品の株式会社ミズノ本社及び西尾レントオール本社と連携して、学生が参画したコミュニティづくりの検討・企画、防災まち歩きを実施した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
鹿屋市、生駒市、倉吉市、琴浦町などで自治体職員、町内会向けに大阪大学の知的財産である避難所情報システム「災害マップ」の活用、研修などを実施した。 宗教施設の災害時活用、行政との連携について、各種、研修会、助言等を行った。 令和6年能登半島地震において、災害支援活動を学生とともにいった。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	共生学	氏名：	志水 宏吉
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	共生学	氏名：	千葉 泉
-------	-----	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
ウクレレの弾き語りを通じて自己表現と協働の意義を体感する授業（共生の技法Ⅰ）、自己のライフストーリーを振り返り、執筆し、鑑賞し合うことで、自己認識や他社認識を深め、人間やその経験の多様性と普遍性を実感とともに学ぶ授業（共生社会論特講Ⅱ）など、受講生の積極的な参加を促進する、特色ある授業を実施した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
ラテンアメリカ音楽をテーマとする演奏会を開催し、来訪者の積極的な参加を促すことで、音楽的コミュニケーションの効果や意義を示した。また、人間科学に関連する内容の自作曲2点を創作し、1点を授業の場で発表した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
（公益財団法人）関西・大阪21世紀協会の依頼で、万博記念基金・国際交流部門の審査委員を務め、2023年度の助成に係る応募事業（単年度事業および複数年度事業）の審査を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	共生学	氏名：	渥美 公秀
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
岩手県野田村におけるコミュニティラーニング、ふくしまスタディツアーを例年通り開催することができ、フィールドワークの手法、災害復興への取り組みなどについて現場で学んでいただく活動に取り組んだ。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
委託研究を軸に障害と災害について学ぶ機会があり、今後の研究の基礎を作ることができた。また、援原病研究会、災害と共生研究会、尊厳ある縮退同好会などこれまで進めてきたがなかなか定期的に進めることができずにいた研究会を徐々に再開していった。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
学術講演、一般向け講演、行政等の委員会などは最低限に留めた。元日に発生した能登半島地震については直後から調査活動を展開し、今後の社会貢献、研究、教育へとつなげる準備を行った。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
研究科長としての2年目も十分に動けたかという心許ない限りである。なんとか任期が過ぎようとしているのも、教職員の皆様の支えがあったからこそと日々感謝している。今年度はOUMP加速推進事業（活性化A）を獲得できたことが貢献の1つであろうか。

所属学系：	共生学	氏名：	宮本 匠
-------	-----	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
「共生学の話題」（学部）では、新潟からゲストを迎え、「防災ワクチン」ワークショップを開催した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
研究代表者として科研費・基盤Cの研究を行った。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
東日本大震災の経験を伝える「3.11からの独り言」の取り組みが、河北新報社の震災13年の企画として採用された。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
教務委員を務めた。

所属学系：	共生学	氏名：	ETZRODT CHRISTIAN
-------	-----	-----	-------------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
I conducted interactive classes, which were regarded by international exchange students as the only courses worth taking at the Faculty of Human Sciences.

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
I have published the following papers: Etzrodt, Christian (2023a): 豊泉俊大訳 「日本人論」の現象学的分析『人間科学研究科紀要』49 巻 Etzrodt, Christian (2023b): Positive Money – Progressive Solution or Trojan Horse, Cambridge Journal of Economics 47: 1207-1223. Etzrodt, Christian (forthcoming): Why Actors Don't Choose – A Comparison of Talcott Parsons's and Alfred Schutz's Action Theories in Relation to Economics, Osaka Human Sciences 10. Etzrodt, Christian (forthcoming): The Ethical Systems of Religions and the Transformation of Capitalism, in Andrea Maurer (ed.), Max Weber's Sociological Thoughts on the Economy, Newcastle: Agenda Publishing. Etzrodt, Christian (forthcoming): Theorizing diversity and inclusion from the perspective of coexistence studies. Kyosei Journal.

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
I have conducted a political simulation for international schools in Tokyo: Cooperation in Southeast Asia, 1 day, participants from AOBA, BST, DSTY, KIST, ISSH, SMIS, St Maur, ZAMA, and Seisen International School, designed and conducted by C. Etzrodt, September 30, 2023.

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
Chair of the Kyosei Ethics Committee

所属学系：	共生学	氏名：	Sainbayar Gundsambuu
-------	-----	-----	----------------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
Teaching undergraduate courses (G30): Introduction to Diversity and Inclusion Studies, A Door to Academia (Global Japan) (co-teaching with other instructors) Teaching graduate courses (co-teaching with other instructors): Critical Studies in Education for Transformation: Masters Research Seminar I, Critical Studies in Education for Transformation: Doctoral Research Seminar I, Critical Studies in Education for Transformation: Masters Research Seminar II, Critical Studies in Education for Transformation: Doctoral Research Seminar II, UNESCO Chair Global Health and Education (co-teaching with other instructors)

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
Grant: 1. JSPS (KAKEN) Grants-in-Aid for Scientific Research for Young Researchers (Lead Investigator; grant accepted in March 2024) Book chapter: 1. Gundsambuu, S. and Enkhtur, A. (upcoming). "Comparative Case Study of EMI in Private Universities in Mongolia, South Korea, and Japan: Rationales and Challenges", in Mei-Hui Liu and Tzu-Bin Lin (eds.) English-Medium Instruction in Higher Education: Convergence and Conflicts, Springer Nature. (peer-reviewed). Academic presentations: 1. Gundsambuu, S. (2024.3). Internationalization of higher education through English medium instruction: Voices from the program implementers in private universities, CIES 2024: The Power of Protest, March 10-14, Miami, FL, USA. 2. Gundsambuu, S. (2024.2). Analysis on the retranslation of a Mongolian short story in English, 8th Conference of Translation Studies, National University of Mongolia, Mongolia. (Invited) 3. Gundsambuu, S. (2024.2). Demands for joint research projects and potential possibilities, Conference for Social and Human Sciences Schools, International University of Ulaanbaatar, Mongolia. (Keynote speaker) 4. Gundsambuu, S. (2024.2). Issues for scientific research paper publication, Conference for Social and Human Sciences Schools, International University of Ulaanbaatar, Mongolia. (Invited) 5. Gundsambuu, S. (2024.2). Qualitative thematic analysis, Conference for Teacher Development, School of Culture, Mongolian State University of Arts and Culture, Mongolia. (Invited) 6. Enkhtur, A., Enkhtur, O., Davaajav, N, and Gundsambuu, S. (2023.8). Exploring the impact of international scholarship in higher education: Mongolian engineering higher education program (MJEED), the 12th International Congress of Mongolists "PAX Mongolica and Historical Experience" in Ulaanbaatar, Mongolia. 7. Munkh-Uchral, E., Gundsambuu, S., Erdenenaran, G., Demberelmaa, B., Soyol, L., and Tergel, E. (2023.4). Орчуулагчийн мэдээллийн технологи ашиглах чадамж [Instrumental sub-competence of translation], Translation Competence Conference at National University of Mongolia, Ulaanbaatar, Mongolia. (Invited) 8. Gundsambuu, S., Demberelmaa, B., Dulamsuren, A., and Tergel, E. (2023.4). Орчуулагчийн4/соёл хоорондын чадамж [Inter-cultural sub-competence of translation], Translation Competence Conference at National

University of Mongolia, Ulaanbaatar, Mongolia. (Invited)

9. Gundsambuu, S. (2023.4). English as a medium of instruction in Mongolia. Rethinking the E in EMI, ICLHE East Asian Symposium 2023, Nagoya, Japan. (Invited)

10. Gundsambuu, S. (2023.3). Монголын хувийн их сургуулиудын англи хэлээр заадаг хөтөлбөрүүд—Хэрэгжүүлэх болсон шалтгаан, тулгарч буй бэрхшээл [EMI programs in private universities of Mongolia—Rationales and challenges], Хэл-Соёл, Боловсрол судлалын багш нарын эрдэм шинжилгээний хурал 2023 [Language-Culture, Education Studies Teachers' Scientific Conference] at Ulaanbaatar University, Ulaanbaatar, Mongolia. (Invited)

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

1. International University of Ulaanbaatar, Advisor to Research Team of Human and Social Sciences
2. National University of Mongolia, Member of Interdisciplinary Program Committee of Foreign Languages
3. Comparative and International Education Society "2024 The Power of Protest" Conference session chairperson
4. Mongolian University English Teachers' Association, Board Member
5. Association of Mongolian Doctoral Students and Researchers in Japan, Coordinator and Administrator
6. IAFOR Journal of Education | Studies in Education, Reviewer
7. SAGE Journal of Education, Reviewer

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	共生学	氏名：	澤村 信英
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
昨年度（2022年度）、ガーナで現地調査を行った学部生の研究成果公表のサポートを行い、今年度になり卒論をベースとした論文が学会誌『アフリカ教育研究』に掲載された。大学院生（前期課程）2名に対しては、コートジボワールおよびケニアにおいて合同で調査を行い、フィールドでの研究指導を必要に応じて行った。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
研究代表者として取り組んでいる基盤研究（A）「アフリカ・アジア諸国における教育の普遍化と格差に関する国際比較研究」（繰越分）の最終年度を迎え、補足的にフィールド調査を実施した（大学院生3名の調査旅費等を負担した）。研究成果を集大成したものとして、共編著『SDGs時代にみる教育の普遍化と格差—各国の事例と国際比較から読み解く』（明石書店、2023年5月発行）を公刊した。また、『比較教育学研究』誌（2024年1月発行）に特集を組むことができた。来年度以降の科研費として、基盤研究（C）「ケニアの新教育制度下における低学費私立学校の役割と展望—一人々の生活に着目して—」を申請し、採択された。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
学会活動として、引き続き、国際開発学会およびアフリカ教育学会の理事を務めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
引き続き、未来共生プログラムのコーディネーターを務め、同プログラムの本研究科内での定着と発展に貢献してきた。全学委員会としては、全学教育推進機構会議委員を務めた。

所属学系：	共生学	氏名：	杉田 映理
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
国際協力学研究室の学部生・院生が海外渡航をして研究や国際性を深めることを、同分野の澤村先生とともにサポートした。学部生は、ベルギー、フィンランド、オーストリアへの留学、オーストラリア等でのワーキングホリデー、大学院生はケニア、ジンバブエ、ニジェール、インド、フィリピン、中国でのFWに加え、UNESCO 地域事務所インターン派遣準備を支援して、人間科学部・研究科の教育の「国際化」に貢献できたと考える。 また、HSP および未来共創センターのオープンプロジェクト（IMPACT）に学生を巻き込み、活動の一翼を担ってもらっている。MeW プロジェクト（月経をめぐるウェルビーイングの検討）では、学生に主体的に企画・運営に関わってもらっており、関西万博のイベントやロータリークラブ等での外部への発信の場にも学生に登壇してもらうことで、学生のエンパワメントに繋がったと考えている。 一方、未来共創ジャーナルで「学際研究として挑む『月経』」という特集を組み、他系・多分野の学生の論文投稿を支援した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
HSP/未来共創センターオープンプロジェクトのひとつ、MeW プロジェクトでは、産学連携がさらに進んで2023年7月にはOOS協定を結んだ。また、国内外での月経研究（基礎研究）をベースとし、生理用品のトイレ内設置という実践を伴うアクションリサーチのMeWプロジェクトが評価され、2023年6月には内閣府男女協働参画局の「女性のチャレンジ賞」を受賞した。 現行の日本の月経教育を問う科研プロジェクトではMeWプロジェクトとも呼応させながら、多様な背景をもつ方々へのインタビューや台湾での調査などを進めている。 また、国際的な共同研究としては、アメリカのコロンビア大学の研究所をPIとする世界6都市のトイレと月経対処に関する比較研究を遂行しており、ニューヨークおよび大阪・東京で調査および研究会を開催している。 さらに、国際協力学の分野での初学者向けのテキストの編者としてエフォートを投入した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
社会貢献活動としては、上記のMeWプロジェクトの関連での生理用品無償提供用のディスペンサーの普及、NPOと連携しての学校トイレにおける生理用品提供の支援、能登半島地震の避難所における月経対処しやすい環境づくりの支援などを行った。 学会活動では、国際開発学会の常任理事、社会共創委員会共同委員長、学会誌編集委員を務めている。国際誌Sanitationでも編集委員を担っている。 また、国際協力の実践に対する後方支援として、国際開発機構の月経衛生分野の技術支援アドバイザー、ジャパンプラットフォームの事業助成審査委員、国際学校保健コンソーシアムの事務局を務めている。さらに日本トイレ研究所の委員、中日本ハイウェイ・メンテナンス中央㈱へのトイレに関する活動の助言等も実施した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
大阪大学 UNESCO チェアについて、運営室メンバーとして定期ミーティングを持ちながら活動をサポートしている。部局の公式な委員ではないが、共生学系の改組にむけて共生学系将来構想ワーキンググループ長として、系内での調整、講座改組の準備などを行った。

所属学系：	共生学	氏名：	大谷 順子
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
博士後期課程の院生たちに国際学会での発表や、国際共著論文の分担執筆の機会を指導した。国際社会学会や国際開発学会など国内外の学会での企画セッションで大学院生たちにも発表の機会をつくった。 全学共通科目では共生学の話題の開講の他、「適塾と緒方洪庵入門」で総括評価の担当年であった他、年2回開講においても分担担当した。博士論文を主査として2本、副査として2本の他、ニュージーランドの Auckland 大学教育学部の博士論文の副査を行った。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
大阪大学国際共同研究促進プログラム(タイプB)、三菱財団人文科学研究助成金の代表継続。新規の科研費基盤C代表、分担各1件、基盤B分担の継続2件。編著『子育ても、キャリア育てもーウィズ/ポストコロナ時代の家族のかたち』九州大学出版会を刊行。年度が始まってから再度、阪大メルボルン大学マッチングファンドに採択され、6月と3月に国際合同ワークショップを開催した。そのチームとWHOのプロジェクトにも採択された。また、新規で阪大人文社会研究成果国際的発信事業にも採択されアメリカの学術出版社から英文編著刊行した。香港中文大学の教授をPIとする香港科研費2件の国際共同研究に参画している。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
公開講座として第16回適塾講座「パンデミックをジェンダーの視点から考える ～ Diversity & Inclusion」を開催した。9, 10, 11月。 台湾留学同友会理事。 公益財団法人日本WHO協会理事。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
全学委員会：国際交流委員会委員。不随し*中国政府「国家建設水平大学公派研究生項目」及びインドネシア教育基金奨学金運営WG*学生交流支援検討WG*海外派遣候補者選考WG*日本語・日本文化研修留学生プログラム実施WG。関連するさまざまな選考面接業務。 適塾記念センター兼任。総合学術博物館兼任。 国際教育交流センター教授会委員。次期センター長選考委員会。 部局内：国際交流室長。共生学系幹事教授。大学院入学資格認定委員会、第3年次編入学試験運営委員会、入学試験委員会、入試合格者判定会議、人事委員会、UNESCO Chair プロジェクト委員会

所属学系：	共生学	氏名：	河森 正人
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
学部ゼミ生を対象に以下のとおりフィールドワークを実施した。まず5月に香川県三豊市の栗島において、現地のカウンターパートとともに離島が抱える問題についての聞き取りを実施した。7月に広島県の牡蠣養殖業を対象とする現地調査を実施した。9月に石川県七尾市において伝統文化の継承に関するフィールドワークを実施した。11月に福島県において果樹栽培農家とワイン醸造業者を対象とする現地調査を実施した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
高知県のえっころネット（幡多地域で活動する医療関係の多職種団体）とともにこれまで四万十市において実施してきたフィールドワークの成果を整理することができた。マヒドン大学アセアン保健開発研究所他と共同で実施してきた「小規模多機能拠点を中核としたケアのコミュニティづくり」および「多世代共生型コミュニティ創生のためのインターローカル・パートナーシップ」の成果を整理し、これをタイに波及させる上での課題を明確にすることができた。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
横浜市西区の野毛坂グローバル（地域コミュニティづくり、海外と日本の学びあい事業、国際協力・交流事業などを実施）が実施するJICA草の根技術協力「タイ国の自治体ネットワークによるコミュニティベース統合型高齢者ケアの普及モデル構築と人材循環プロジェクト」のアドバイザーコミッティメンバーとして協力することができた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
財務会計委員会、評価委員会、人事委員会、紀要編集委員会、男女協働推進ワーキンググループの委員として活動した。

所属学系：	共生学	氏名：	藤目 ゆき
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
特になし

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
特になし

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
7/26 「朝鮮戦争停戦協定 70 周年記念シンポジウム in 京都」にて講演 8/11 東北アジア歴史財団学術シンポジウム（於ソウル）にて講演 9/9 沖縄大学国際シンポジウム（9/9）にて講演

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
総合型選抜面接委員責任者 学生支援室委員（共生学より）

所属学系：	共生学	氏名：	MOHACSI Gergely
-------	-----	-----	-----------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
teaching undergraduate and graduate classes; supervising graduate students

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
2 KAKEN projects (collaborator)

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
Volunteer work in Nishinari and Uda (Nara).

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
Graduate Entrance Exam Committee, etc.

所属学系：	共生学	氏名：	小川 未空
-------	-----	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
共生学系実験実習Ⅰにおいて、グローバルビレッジ津雲台のサービス付き高齢者向け住宅を中心とし、まちづくりへの参与を伴う実習授業を担当した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
共編著の書籍（うち5章分を分担執筆）の出版に至ったほか、新たに大阪市の生活困窮者に関する共同研究を実施しその成果を2つの論文にまとめた（うち1本は英語論文）。そのほかに日本語論文2本、英語論文1本を年度内に公開した（予定含む）。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
日本比較教育学会において若手ネットワーク委員会の委員となり、若手の研究・教育活動を支援した。アフリカ教育学会では編集幹事として雑誌『アフリカ教育研究』の出版に従事した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
研究倫理審査委員会、系の紀要編集などに取り組んだ。

所属学系：	共生学	氏名：	ANDRIARINIAINA FANANTENANA RIANASOA
-------	-----	-----	-------------------------------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援 23K18868: The pathway from education to work in Africa: the case of Madagascar

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
『アフリカ教育研究』編集幹事 国際開発学会第12期 選挙管理委員会幹事 『共生学ジャーナル』編集委員 International Education Development Forum 2023, October 28–29, 2023 at Nagoya University, Full Paper and Proposal Presentations Panel Member and Adviser

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
大阪大学大学院人間科学研究科共生学系研究倫理審査委員

4-5. 学系外

講座名等	教員氏名
附属未来共創センター	杉本 めぐみ
	木村 友美
未来共生イノベーター 博士課程プログラム	榎井 緑
	田川 千尋
	伊藤 莉央
教育支援デジタルクローン 共同研究講座	藪田 拓哉
IMPACT	徳永 恵美香
国際交流室	安元 佐織
学部英語コース 人間科学コース	CAVALIERE Paola
	POZSGAI ALVAREZ JOSEPH
	BABOVIC ALEKSANDRA
	MAWER KIM GISELA
学生支援室	松井 智子
サイバーメディア室	宮本 友介
評価資料室	米田 翼
公認心理師プログラム運営室	平井 啓
	坂東 希

※計 17 名 掲載順

所属学系：	附属未来共創センター	氏名：	杉本 めぐみ
-------	------------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
九大歯学部と医学部との災害医療分野での学際教育

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
2023 年度マウイ島山火の国際研究チームに参加 等

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
・大阪府危機管理課より府民の津波防災意識調査委託 ・西日本新聞「後悔しない備え」連載(https://www.nishinippon.co.jp/theme/preparation/) ・NHK はっけんラジオ「めぐみ先生の防災力」コーナー担当 ・NHK 福岡支局主催 BCP 講座講師 (https://www3.nhk.or.jp/fukuoka-news/20231204/5010022652.html) ・能登半島地震報道協力（アベプラ https://abema.tv/channels/abema-news/slots/CibJ9Pyhf9hg5V,） ・和歌山県 7 月豪雨の報道協力 (https://www3.nhk.or.jp/lnews/wakayama/20230614/2040014986.html) ・公益社団法人日本監査役協会 BCP 講座講師 ・福岡県宗像市男女共同参画推進センター防災講座講師 ・国連 UNOCHA（インドネシア支部）連携協力 ・府民のための国際防災津波シンポジウム主催 ・第 6 回 OOS シンポジウム主催 等

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
未来共創センター副センター長（8 月～） IMPACT 運営委員

所属学系：	附属未来共創センター	氏名：	木村 友美
-------	------------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	未来共生イノベーター 博士課程プログラム	氏名：	榎井 縁
-------	-------------------------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	未来共生イノベーター 博士課程プログラム	氏名：	田川 千尋
-------	-------------------------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
「公共サービス・ラーニング」授業では関西圏のさまざまな共生の現場で学生を受け入れていただいている。これまでも受け入れを継続的にしてもらっている各種団体・学校のほか、今年度特色ある新たな受け入れ先としては、女子刑務所出所後の更生施設や、病院が、病気になる前に地域の健康増進に貢献したいと新たに設けたウェルビーイングの部署など。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
フランスより研究者を招聘し（代表科研費）国際研究集会を2回開催「フランスにおける高大接続」

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
青森県八戸市にて、理系への女子の進学を促進するためのプロジェクト（JST 八戸工業大学 HIT プロジェクト）主催の講演会で講演。教育委員会・中高の先生、大学教員が参加。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	未来共生イノベーター 博士課程プログラム	氏名：	伊藤 莉央
-------	-------------------------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
特記事項なし

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
日本学術振興会科学研究費助成事業において、研究活動スタート支援の助成金を獲得した。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
共生学会の編集委員として『共生学研究』の編集作業を行った。 茨木市立豊川中学校の学校運営協議員として活動を行った。 第72次教育研究三重県集会において助言者を務めた。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
特記事項なし

所属学系：	教育支援デジタルクローン 共同研究講座	氏名：	藪田 拓哉
-------	------------------------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	IMPACT	氏名：	徳永 恵美香
-------	--------	-----	--------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	国際交流室	氏名：	安元 佐織
-------	-------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
社会教育活動【伊丹市立生涯学習センターラストホールで開催されている教養大学で講師担当 2024 年 1 月 26 日 「なぜ日本人は 100 歳まで生きたくないのか」】 社会教育活動【浜松市舞阪協働センターで開催されている地域活性化のための企画で講師担当 2024 年 2 月 9 日 「人生 100 年時代：これからのそして今までの舞阪での暮らしについて語る世代間交流講座」】 学会活動【文部科学省科研費学術変革領域（A）「生涯学」主催シンポジウムでコメンテーター担当 京都大学国際科学イノベーション棟 5 階シンポジウムホール 2023 年 11 月 18 日「生涯学」の展開」脱毛から身体と社会の関係性を考える

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
国際交流センター兼任講師・留学生専門委員会・フロントスタッフ委員会

所属学系：	学部英語コース 人間科学コース	氏名：	CAVALIERE Paola
-------	--------------------	-----	-----------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	学部英語コース 人間科学コース	氏名：	POZSGAI ALVAREZ JOSEPH
-------	--------------------	-----	------------------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
Panel Co-Chair, ECPR General Conference, Charles University, 4 – 8 September 2023. Moderator of Session "Civil society as a driver for Collective Action", Asia-Pacific Anti-Corruption Collective Action Forum, Manila-Philippines, 25 September 2023 Keynote speaker at the VI Academia against Corruption in the Americas Conference in Mexico City, 18 October 2023. Organizer of monthly Virtual Roundtable on Measuring Corruption (January~December 2023)

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
教育国際化推進委員会（CPIE）

所属学系：	学部英語コース 人間科学コース	氏名：	BABOVIC ALEKSANDRA
-------	--------------------	-----	--------------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
Joint research project with practitioners in renewable energy operations sector.

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
Admissions procedures

所属学系：	学部英語コース 人間科学コース	氏名：	MAWER KIM GISELA
-------	--------------------	-----	------------------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など

所属学系：	学生支援室	氏名：	松井 智子
-------	-------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
特になし

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
特になし

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
・ 第 18 回日本応用老年学会大会 大会準備委員 ・ 日本心理学会，認定心理士資格認定委員（小委員会 → 講演出版小委員会 ・ 日本健康心理学会，広報委員会

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
・ 人間科学部オープンキャンパスの企画・運営

所属学系：	サイバーメディア室	氏名：	宮本 友介
-------	-----------	-----	-------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
情報セキュリティの啓発

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
「大阪市西成区 単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業」表現プログラム「アジール呱呱の声」担当

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
人間科学研究科 部局ネットワーク管理者 CO デザインセンター 部局ネットワーク管理者 人間科学研究科 部局 CSIRT 人間科学研究科 部局情報システムセキュリティ管理者 次期 LMS 検討サブワーキンググループ

所属学系：	評価資料室	氏名：	米田 翼
-------	-------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
(1)超域イノベーション博士課程プログラムにおいて「超域人文学」を担当し、全学から選抜された大学院生を対象に、宇宙生物学の歴史・哲学を主題とする講義を実施した。 (2)担当科目（現代人間科学演習Ⅱ）の受講生から希望を募って、自身が企画・運営を努めた研究会（2023 年度秋期ベルクソン哲学研究会@大阪大学）に参加してもらった。こうした活動を通して、学外の研究者との交流の機会を提供するよう努めている。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
1）2024 年 4 月から新たに下記の科学研究費助成事業に参加することが決まった。 ・若手研究（研究代表者）「アレクサンダー哲学の理論的全体像の構築：ベルクソンからの影響を手がかりに」 ・基盤研究 B（研究分担者）「ベルクソンにおける時間思想の多元的展開」 2）2024 年度に刊行予定の下記の書籍に論文を寄稿した。 ・『21 世紀の自然哲学へ』（人文書院，担当「宇宙からの眺め、炭素からの解放：ベルクソンの複数世界論と代替生化学」） ・『一元論の多様な展開』（晃洋書房，担当「アレクサンダーの時空論と創発論：ベルクソンからの影響を踏まえて」（仮題）） 3）2024 年度に刊行予定の下記の教科書にコラムを寄稿した。 ・『ワードマップ ベルクソン』（月曜社，担当「ホワイトヘッド」）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
2023 年度秋季のベルクソン哲学研究会の世話人として、研究会の企画・運営を実施した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
評価資料室助教として、執行部との連携のもと、OU マスタープランの実現に向けた部局アクションプランを作成したほか、授業改善アンケート（年二回）の実施・集計を担当した。 また、教育改革推進室助教として、「国際学会派遣支援」、「オンライン国際学会派遣支援」、「国際研究交流プロジェクト」、「論文等の外国語校正支援」、「研究集会開催支援」、「英語力向上セミナー（年二回）」、「子育て・研究両立支援および子育て・学業両立支援」といった各種就学支援の運営・実施を担当した。

所属学系：	公認心理師プログラム運営室	氏名：	平井 啓
-------	---------------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
未来競争センターオープンプロジェクト、心理行動フォーサイトラボの2023年度PBL報告会・意見交換会をソニーシティ大崎にて開催し、ソニー株式会社の技術者やマーケティング担当者、JR西日本テクシア担当者、金沢工業大学の教員、慶應義塾大学環境情報学部の学部生さんなどと活発な意見交換・交流を行った。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
第30回日本行動医学会学術総会 優秀演題賞（口演部門） 教育支援デジタルクローン共同研究講座開設 AMED 予防・健康づくりの社会実装に向けた研究開発基盤整備事業、ヘルスケア社会実装基盤整備事業「個別最適化した疾患発症予防支援アプリによる健康行動アドヒアランス向上の要件の解明」研究分担者 学術相談（京セラ株式会社）

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
厚生労働省飲酒ガイドライン作成検討会委員 日本社会心理学会「社会心理学研究」編集委員 TERMS 第三者評価委員会委員 NPO 法人 PSV JAPAN 副理事長

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など
公認心理師プログラム運営室 IMPACT 運営委員会委員

所属学系：	公認心理師プログラム運営室	氏名：	坂東 希
-------	---------------	-----	------

(1) 【教育】今年度の教育活動について

教育活動に関する特記すべき事項（大学院・学部にかかわらず、ユニークな実践）
研究活動で連携してきた研究協力機関に依頼し、（記入者の担当業務である）公認心理師プログラムの実習機関として学生を受け入れていただくなど、学生の教育（実習）機会の充実に貢献した。

(2) 【研究】今年度の研究活動について

研究活動に関する特記すべき事項（受賞、外部研究資金の受入など）
1）2020年4月から開始した科学研究費助成事業（基盤研究C、研究代表者）を継続した（本年度で終了）。 2）2023年4月から開始した下記の科学研究費助成事業を進めた。 ・基盤研究C（研究代表者）：逆境体験をもつ子どもを支えるトラウマインフォームドな地域づくりに関する実践的研究 ・基盤研究B（研究分担者）：新自由刑と無期受刑者処遇に関する総合的研究：日本型行刑における拘禁刑の社会化 3）査読論文の投稿「非行行動のある少女の自己理解と変化を支える一児童自立支援施設におけるグループ実践から—」子ども学（11）69-89 2023年5月 4）他大学（日本女子大学人間社会学部社会福祉学科）の研究者が研究代表者である研究事業「アディクション回復支援における治療共同体モデル実践のための研修プログラムの開発」に引き続き参加した。 5）2023年度に国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)に申請し、採択された（テーマ：子ども・家族への効果的介入についての学際的トレーニング・プログラムの開発）。

(3) 【社会貢献】今年度の社会貢献活動について

国際交流活動、社会教育活動、行政・民間企業等外部の各種委員、学会活動など
・箕面市地域福祉計画推進会議会長として同推進会議に2回参加し、主に箕面市における重層的支援体制整備に関する準備と実施について助言。 ・一般社団法人出所者支援ネットワーク東海主催研究会にて講演「トラウマインフォームドケア（TIC）とは」 ・鳥取少年鑑別支所拡大研究会にて講演「問題行動を呈する子どもに対するトラウマインフォームドケアの重要性について」 ・2023年度近畿児童自立支援施設 職員研修「子ども時代の逆境体験（ACE）の影響を減らし、ポジティブな体験（PCE）を増やす」 ・和歌山市教員研修にて講演「差別・貧困・虐待等の逆境体験を有する 子ども・家族を支えるコミュニティづくり」 ・箕面市立萱野中央人権文化センター・らいとびあ21の職員研修にて2回講演とワークショップを実施した。

(4) 【管理運営】今年度の大学及び部局の管理運営について

大学運営に関わる役職、全学委員会、部局内委員会など